


实用度の高いセフレ付CG集!

ラ○フラスの“おっぱい担当”  
NENEさんが俺のセフレに!

放課後の教室で巨乳彼女との淫らな  
セックスライフを満喫!

国民的セックスフレンド  
～ NENE ～





彼のベニスの臭いを嗅ぐと  
体が熱く火照ってきて  
我慢できなくなってしまう  
この場所がどこかって事も  
どうでも良くなってしまう程に…

今日もまた——彼の求めに応じて  
放課後の教室でこんな事をしていま  
でも最近では私もこのスリルが  
快感になってきた気がします  
「誰かに見られるかも…」と思うと  
いつもより感じてしまう私がいま

すごい……  
もうガチガチだよ  
私のおっぱい見て  
こんなになっちゃったの？

ふふ…私のおっぱい  
好きなんだ？



私も……  
あなたのオチンチン  
大好きだよ

この色も形も  
鼻につく臭いも  
大好きなの

んはああん……  
すごくイイ臭い  
アソコが熱くなっちゃう

ハア  
ハア

ぎゅっ♡

ふふっ……  
ビクビクいっちゃって  
かわいい

ほらっ  
もうこんなに  
滴があふれてきてるよ



気が付くと私は彼のペニスを  
右手で握っていました  
手のひらから彼の熱と感触が  
伝わって来ると  
私の体の奥も熱くなるのを感じました

彼の赤黒い亀頭を見つめると  
いやらしい気持ちがあわき上がってきて  
私の股間を恥ずかしい汁が  
しっとり濡らしていくのがわかりました

ハア  
ハアア

あーん♡





今にもはち切れそう  
かわいそうに……  
もう我慢できないよね

うふふ……  
すぐ楽にしてあげるからね

どくろ

どくろ

どくろ

どくろ

硬くもぎり立つたペニスを  
右手でこすりあげると  
彼が気持ち良さを叫んで  
うめき声を上げる

手首の動きを早くすると  
ピクピクと激しく反応し  
先端からはいやらしい  
よだれをたらしていた

こんな姿を見せられたら  
私も感じずにはいられない  
乳首の先端がピンツと勃起し  
ビリビリと切なく痺れている

じゅっ

じゅっ





彼の目が私の胸を凝視している  
まるで穴が開ききつなくなぐら  
熱く見つめている

彼の視線で私の体が  
犯されていくのを感じる  
体の奥底からゾクゾクとした  
快感が突き上げてくる

私はたまらず  
左手を自分の股間へと  
のぼしてこい

ハア  
ハアア

じゅっ

じゅっ

ふるん♡

ふるん♡

んん♡





あつ!  
あああつ……  
はああああん

き  
気持ちイイ……  
んっ……んはああん

どくろ  
どくろ

じゅっ

じゅっ

んんん

んんん

膣奥から次々と愛液があふれてくる  
指の隙間から床へと滴り落ちて  
恥ずかしい水たまりを作った

自分の股間をいじりながらも  
ベニスを擦る速度はゆるめない  
二人の液体がウチャウチャと音をたて  
いやらしく教室に響いていた

どくろ

どくろ

じゅっ

じゅっ

どくろ

どくろ

どくろ

どくろ



彼の呼吸が荒くなつていく  
「ネネさん！俺もうっ……」と  
限界が近いことを告げる

ハア  
ハアア

もう出るの？  
イイよ……  
いっぱい出して

シコ  
シコッ

私は彼の絶頂に備え  
ペニスを擦る手の  
速度を速めた

ちゅぽっ  
ちゅぽっ



彼のうめきが激しさを増し  
それに合わせて私の快感も  
一気に高まっていく

ハア  
ハアア

シッ

シコ

シコッ

シッ

はああああん！  
出して！  
いっぱい出してえ！

あなたの熱いの  
顔にかけてええっ！

ちゅわん

ちゅわん



あああつ！  
んはああああんつ！

「ううっ！」と嗚咽をお漏らし  
彼は絶頂へと達した  
大量の精液が目の前に吹き出し  
私の顔を白く汚していく

ふあああ……  
はあああん……  
うふふ……いつばい出たねえ……

びゅっ！

びゅるるっ！

ちゅっ

ちゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ



焼けるような精液の熱が頬に伝わり  
むわっとした臭いが鼻の奥を刺激した  
私は舌先で精液を舐めとると  
その独特の味に  
恍惚とした気分になっていった

私は精液の味が大好きだった  
この臭いと苦みもたまらない  
私の理性を奪っていく  
全身がとろける程に  
激しく感じてしまうのだった

はふううん……  
すごい……  
コレ好き……



まだ足りない……  
もっと彼の精液が欲しい  
顔中を精液まみれにして欲しい

彼の勃起も  
まだおさまっていない  
精液を垂らしながら  
ビクビクと脈打っている  
彼もまだ満足していない様だった

ねえ……  
もっと……するでしょ？





私は教室にいる事も忘れ  
彼のベニスに夢中になっていた  
もっと彼の精液が欲しい！  
何かが私を突き動かしていく

激しくしゃくく右手で亀頭を刺激すると  
同時に左手で自分のクリトリスも刺激した  
身もだえる彼の表情と股間の快感が  
私の興奮をどんどん高めていった



あつ！ はああん！  
ふはああつ……  
わ 私……  
止まらなくなっちゃった

ハア  
ハアア

どくろっ

ぬちゅ

ぬちゅ

どくろっ

んぬ

んぬ

んあああ……  
気持ち……イイ……  
あなたも……気持ちイイ？

ここ！ いいでしょ？  
先っほのギリギリ  
気持ちイイよねえ……  
はうああっん！



射精直後の敏感なペニスを  
乱暴にもてあそばされて  
彼の体が切なく反応するのが  
たまらなく愛おしい

根本をギュツと握ったり  
袋をフニフニと揉みし抱いたり  
裏筋を指先でなぞったり  
亀頭の力り首をくりくりと  
いじったりするのが楽しい



ん？なに？  
おクチでして欲しいの？  
んんんどうしよっかなあ…

ふふっ…  
だあゝめっ！  
お・あ・ず・け♪

ぬちゅ

ぬちゅ

ハア

ハアア

本当は今すぐにも  
しゃぶりつきたい衝動もある  
この愛らしい亀頭を頬張り  
チユバチユバと口中で味わいたい！

でも今は我慢する事にする  
私は…好きなモノは  
後に取っておくチだった



でも…ほらっ!  
私の手…気持ちイイでしょ?  
私もあなたの感触が伝わってきて  
すごく感じちゃうんだよ

ほらっ! ほらあ!  
あなたのオチンチン  
すごく感じてるよ!

キュンキュンきてて  
今すぐにでも  
出ちやいそうじゃないの?!

ハア  
ハアア

シコ  
シコッ

ふるん♡

ふるん♡

ちんぽ

ちんぽ

どく

どく





恥ずかしいのに……  
あなたの硬いのが欲しくて  
こんなになっちゃてるんだよ？

はあああ……  
すごおい……私の中も  
とっとも熱くて  
トロトロになってるよお……

ああああ……  
早く……欲しいの……  
熱くて濃い……  
いっぱい出してえっ！

シコ

シコッ

ハア

ハアア

どくろ

どくろ

どくろ

どくろ

どくろ

私の言葉に反応して  
彼の性感が高まっていくのがわかる  
指の握りを強めて  
刺激を鬼頭に集中していい

ガクガクと彼の腰の動きが激しくなる  
袋がキュツと収縮し射精が近い事を  
知らせてくる

はああああん!  
出ちゃうの?  
また出しちゃうの?







あっ！ はんっ！  
出してえ！  
あなたの精液出してっ！

んああっ！  
濃くて熱いの  
たっぷり出してえっ！

ブルンッ！  
ブルンッ！

ブルンッ！  
ブルンッ！

ハアハア

ハア

ハアハア

どくどく

どくどく

ハアハア

どくどく

どくどく



はうああっ!  
私も……  
私もイツちやうう!

あああっ!  
うはああんっ!  
くふうううんっ!

一緒に!  
一緒にいいいつ!  
あああああっっ!

ブルンッ!

ブルンッ!

ズクッ

ズクッ

ズクッ

ズクッ

ズクッ

ハア

ハアア

はあああああつ！  
んあああゝゝつ！  
はあああ……

びゅっ！

びゅるるっ！

ふるん♡

ふるん♡

ちゅっ

ちゅっ

彼と同時に私も絶頂へと達した  
ビュルビュルと熱い精液が放出される  
彼の濃厚な精液が  
私の顔や胸にまき散らされる



はああ…んはああん…  
ふああ…連続なのに  
すっごく濃い…

ふふふっ……  
私も一緒にイツちやった

はあ…はああ…  
どうだった？ 気持ち良かった？

どくろっ

はあ

ハア

ハアア

れろっ

どくろっ

びく

びく

しゅわっ

ポワ

ポワ





えっ?  
気持ち良かったけど……  
まだ満足してないって?

うふふ……  
私もだよ♪  
まだまだ続きしようね

ハア  
ハアア

ぎゅっ♡

とろろ

ぎゅっ

びく

びく

ボク

机の上に押し倒されると  
両手で乱暴に胸を  
わしづかみされた  
強く揉まれたおっぱいが  
グニョグニョと変形している

おっぱい

すっかり敏感になった私の体は  
揉まれる度に快感が電撃の様に走った  
彼の手で為すがままに  
もてあそばされるおっぱいは  
まるで別の生き物の様にうごめいた

グニョグニョ



胸の谷間の上には  
彼のペニスが乗っている  
目の前でブルブルと踊る亀頭が  
とても愛らしい

あああ……  
次は胸を…おっぱいを  
犯すつもりなのね



その硬くいきり立ったモノで  
柔らかいおっぱいの肉を  
思いつきり陵辱する気なんだわ

私はこの後の展開を想像し  
その期待感から  
胸が張り裂けそうだった





はあ…はああ…  
私のおっぱい揉むの  
そんなに気持ちいいんだ

ふふ…それで……  
私のおっぱいどうするつもり?





あっ！

は…あうんっ…  
はああ…入っちゃったあ  
おっぱいにオチンチンが  
にゆるんって……

はああ…  
私のおっぱいの中に…  
ミツチリ収まっちゃってる

にゆるんっ♡

おぎんっ♡





あふう…熱い…  
あなたのごく熱くて  
私のおっぱいやケドしろう

ハア  
ハア

あつ！ そんなに…  
強くしたら…  
ん！ んはあああつ…





だ…ダメええつ…  
あふうんつ…ふああつ…  
そんなに乱暴しないでえ…

おっばい♡

んはあつ！ ああ…  
おっばい…壊れちゃうよ  
ふはああつ…

おっばい♡







わしづかみにされたまま  
両胸の間に無理矢理へニスを挿入される  
ムリムリと肉をかき分け  
硬い肉棒が私の中へと入って来る

「ネネさんのおっぱい  
スゲエ気持ちいいよ」と彼  
「おっぱいマン」の様に吸いつけたい」と  
卑猥な言葉を浴びせられる





あつ…いやつ…はあんつ…  
そんなコト言わないでえ…

嬉々として腰を振りベニスを  
胸に擦りつける彼の姿に  
高揚感と満足感が高まる

私のおっぱいで彼が悦んでいる  
彼の快感が伝わる様に  
私の中にも悦楽が広がっていった





あつ！ ああつ… あんっ…  
き 気持ちイイ？  
私のおっぱい気持ちイイ？

私のおっぱい…  
あなたので犯されてるう…  
もっと… いっぱい犯してえ！

ハア  
ハア

ず  
ず  
ず

ず  
ず  
ず





んあつ！ はううつ！  
んっ…ふはあああつ…  
すごいっ…ああ…激しいっ

ハア  
ハア

はあああああつ…  
おっぱいが…んあああん…  
あなたの形になっちゃうっ…

ず  
じゅ  
じゅ

ず  
じゅ  
じゅ







はああ！ あっ…ん…  
で出るの？ 出ちゃうの？  
いいよ…思いつきり出して！

私のおっぱいで…  
たっぷり出してえっ！  
はあああああっ！





びゅん..

びゅん..

びゅん..

びゅん..

びゅん..

びゅん..

はうう！ あっ！  
んはあああああっ！  
ああああん……

んああ……熱い……  
はふううん……  
うはあああ……

びゅびゅびゅ！！  
びゅびゅびゅ！！

びゅびゅびゅ

びゅびゅびゅ



はふううん…  
おっぱいでイッチャった…  
すごい…あはあ…

ハア  
ハア

ゴ  
ゴ  
ゴ

ああああん…  
また…またいっばい…  
出たねえ…うふふ…





はあ...はああん...  
まだまだ濃いのがいい...

ヌルヌルのベトベトになっちゃた  
ふふ...すごいうれしい...

どろろ

ハア  
ハア

プル

プル

えっ？

まだまだイけるって？

私の顔もつと精液で汚したいの？

ふふ…いいよ……

おっ  
くらっ

くらっ  
くらっ

私のおっぱいが気持ちよすぎて  
勃起が治まらない…って  
もうっ！ バカなんだから…



あつ！ ああん！  
いきなり…そんな激しく  
や…はあああつ…

出した…ばっかりなのに  
なんて元気なおお…

んはああ…いっ…  
ヌルヌルがからみついて…  
き 気持ちイイ！

ぢゅぢゅ  
ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ  
ぢゅぢゅ





あふうんっ…あああ…  
入れてっ！ 早く入れてえ！

んはああっ！ ほうああっ…  
あんっ！ にゆるんって  
抜けちゃったあ…

にゆるんっ

にゆるんっ



はうああん!  
イイっ! すごくイイよお!  
もっと… もっとしてえ!

乳首も… 乳首もいじってえ  
もっとグリグリってしてえ!  
はうあはあん……



くはああ！ あふううん！  
いいよ！ もっと激しく！  
うあっ… はうああああん！

もっと… 出してえ！  
あなたの精液い…  
いっぱい顔にかけてえっ！

ず  
び  
か  
ん

ず  
び  
か  
ん



ああああん！  
濃くて熱いのもっと欲しいの！  
ふはあ…お願いいっ！

はあああああつ！  
出してえ！  
精液いっばい出してえ！

ずびゅん

ずびゅん



あふうううんっ!  
くはあああああつ!  
んはああああん……

出てるううっ!  
いっぱいっ!  
吹き出してるうっ!

びゅんっ!  
びゅんっ!  
びゅんっ!





はああ…はああ…  
ふはああん……  
精液いっぱい……出たあ…

くふううん……はあ…  
とつても……すてき……  
んふうう……

びしょ

びしょ

びしょ

ハァハァ

顔中に精液をぶちまけられて  
私は恍惚にまどろんだ  
ドロドロに汚れた顔を見て  
彼がキレイだといってくれた

精液の味と臭いにまみれ  
私は再びわき上がる欲望に  
身を震わせていた……



彼はスカートで私の両手を縛ると  
床にはわせてへニスをしゃぶらせる  
やっとこの舌で味わう事が出来たのに  
両手がきかない事でうまく  
動けないのがもどかしい

ん。

口の中でビウビウと彼のペニスが脈打つ  
舌先で亀頭をなめ回すと先端から  
じわじわとガマン汁あふれ出てくる  
のど奥へとしみわたるこの味わいに  
いくらでもしゃぶり尽くしたい衝動がわき上がる

んんんん

んぐ

んぐ



はんっ…んふう…  
あふう…おいひい…  
ん…ちゆるるっ…

んんっ…んぐ…  
んちゆる…ちゅ…ちゅぶっ  
はああ…ん…ちゅぶっ…  
んっちゅっ…ちゅぶぶっ…

ちゅぼっ…はああ…  
れろ…れろろっ…  
れろっ…んんっ…

ちゅぼっ

んちゅっ





はうんんっ…  
あなたのオチンチン…  
んちゅ…とっってもおいひい…

んん？ チンポって呼ぶの？  
んちゅ…うん…  
チンポおいひいっ…ぢゅびっ…

んちゅる…んん…  
くちの中でえ…濃ひい味い…  
チンポしゅい…  
んちゅぢゅっ…

んちゅ？

んちゅぽっ



びくっ!

びくっ!

おふううっ…んふっ…  
んっ! はむうう…

んっ! んぐぐっ!  
んふう…んちゅっ…  
あぐうう…あむうう…

彼が膣を激しく突き上げる  
ノドの奥へと亀頭が突き刺さる  
その度に快感が背筋に走り  
私の股間を熱く濡らしていく

びくっ!

ちゅるるる

ちゅるる



既に何度も射精しているのに  
彼のペニスの硬度はちっとも衰えない  
むしろ達する度に硬さが増していると感じる

びくっ! びくっ!

その硬直した肉棒が  
リズムカルに私の口の中を出し入れする  
頬の裏や上あごの粘膜を擦り上げ  
ノドの奥まで激しく犯っていく

びくっ!

ちゅるるるる

ちゅるるる



窓の外に露出した股間を向けて  
私は彼のペニスにむしゃぶりつく  
放課後の教室でこんなはしたない姿…

バツクリと割れ濡れた股間  
無防備に晒された恥ずかしい部分  
誰かに見られるかもしれない  
というスリル…

その光景を思うだけで  
いやらしい汁があふれてくるのがわかる  
太股をつたい流れる愛液の感触が  
さらに興奮を高めていく

ぐんぐん

ちゅちゅ

ちゅちゅ



びくっ!

あん…んぐぐう…  
んちゅっ…んん…

んちゅっ…んぐぐっ…  
んふう…ははあああ…  
ちゅっほー!ちゅっほー!  
ちゅぶっ…ちゅぶぶっ!

ノ下を突く彼の動きが速くなる  
射精が近づいているのだ  
私も それに応じて首の振りを強めた

んちゅっ

んちゅっ



口をすぼめベニスを圧迫する力を強めると  
大きく上体を振って激しくストロークさせる  
胸が揺れて乳首が彼の太股に擦れた

ノドの奥へと飲み込まれていく亀頭  
舌先で裏筋を擦りあげると  
尿道の脈動を感じる

もうすぐ精液を注いでもうける  
ノドの奥に下り下り  
大量の精液を流し込んで欲しい

ガッルル...

ガッルル...

ガッルル...

ガッルル...

ガッルル...



びくんっ!

びくっ!

んっ!  
んぐぐうっ!  
あんんううっ……

んああっ!  
んふほはあああっ!  
おごおっ!

あふうっ……  
んおおっ……  
はあ……  
出ひてえっ!  
んぢゅっ……

びくんっ!

びくんっ!  
びくんっ!  
びくんっ!

びくんっ!



んぐくぐうっ!  
ん! んふふうう...  
んくっ...ん...

ふうん...んん...  
おふうう...はああ...

彼が絶頂へと達した  
口の中に放出された精液が満たされていく  
一滴も漏らすまいと飲み込むが  
あまりの量の多さに口の端からあふれ出てしまっ

びくっ!

ハア

ハア

ハア

んんん

んんん

んんん





ノドの奥でからみつく濃い精液  
ゴウゴウと飲み込むと  
濃厚な後味が口中に広がる

んぐ…んぐっ…  
ん…ごく…ごくりっ…  
んはあ…はああ…

はああ…おいひい…  
あなたの精子…  
とってもおいひいよお…

ハア

んぐ

んぐ

ハア

ハア



ん！ はああ！  
んぐぐうっ！  
おふううっ……

びくっ！

「ネネさんのクチマン」最高！と  
嬉々として腰を動かす  
ヌルヌルのノド奥に容赦なく  
肉棒が突き刺されていく

射精の余韻に浸る間もなく  
彼は再び私の口を犯し始める

ぐわっ

あやうっ

あやうっ





はむむう...あくう...  
んごお...んん...んふう  
ぢゅぶぶつ...んぢゅう

あふう! んぐくうっ!  
んぐ...んぢゅ...ぢゅぶつ  
ぢゅ...ぢゅつぶぢゅつぶ

おふう...んふう...  
ん! はぐう...おおう  
ぐぢゅ...ぐぢゅううっ

んぢゅっ  
んぢゅっ

んぢゅっ

んぢゅっ

んぢゅっ

こんなっ…んふう…  
しゅごいいい…おごお…  
んぐう…もつとお…

チンポお…んぐく…  
ノドの奥にい…おぶう…  
突いへえ…もつとお…

私のお…クチマンコお…  
んぢゅぢゅう…犯ひてえ…  
ぢゅっぽ…ぢゅぽぽ…

ぢゅっぽ

ぢゅっぽ

ガッ

ガッ

んぐく

んぐく





アッアッ

んぐう！んはあ…  
んぢゅ…んぢゅぷつ…  
もっと…欲ひい！

精子！欲ひいのお！  
おぐぐう…んぢゅぢゅつ  
もっと出ひてええっ！

ぢゅっぢゅっ

アッアッ

ぢゅっぢゅっ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

んぐう

んぐう

びくわ!

ちゅぽんっ…はああ!  
あああっ…中にい!

あああっ!  
いやああん!  
出ちゃたああああ!

びくわ!

びくわ!  
びくわ!  
びくわ!

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ



はああ…はふうん…  
はあ…はああ…  
髪に…精子い…

ふあああ…  
お口に出して  
欲しかったなあ…

ハア

びくっ!

びくっ!

ハア

ハア

びくっ!

びくっ!



もっと…ちようだい…  
はあっ…んちゅぶっ…

彼の精液を味わい足りなくて  
私はもう一度ペニスをくわえ込む  
チユウチユウと吸い付くと  
尿道の奥から残った精液が絞り出される

一滴も逃す事なく精液を吸い尽くし  
私はわずかながらの満足を感じていた





彼は私を床に寝ころがすと  
足を上げさせ股間を強調した格好をさせる  
なぜか一度脱いだパンツをもう一度はかせ  
その上から股間をいじりはじめました

両手の親指で大陰脣を左右に押し開く  
布地の上からでも形がわかってしまうくらい  
割れ目に吸い付いたパンツのしわが  
クッキリと性器の姿を映していました



「パンツの布で隠れて見えないのが好きなんだ」  
彼はさう言うついでにパンツと股間を凝視しました  
私は恥ずかしくて鼓動が早くなり  
彼の熱い視線にもしもじと身もだえました

本日は早くお風呂に入りたいです  
彼は手を離れて視覚の集中が止まらず  
じろろと覗き込んで意識がもういまいち  
股間をじろろと覗き込んでいます

お風呂に入りたい

お風呂に入りたい





私の性器も肛門も恥ずかしい部分はず入って  
彼の目の前にあられもない姿をさらけ出して  
うれしさと恥ずかしさが混ざり合った  
複雑な感情に興奮が高まっていくのを感じてた

遂にパンツを脱がされて  
私の股間が彼の眼前にあられわになった  
びっしょりと濡れた陰部が  
空気にさらされて涼しさを感じさせた

プルッ  
プルッ

プルッ  
プルッ

ハア  
ハア

ハア

プルッ



はああん...やだあ...  
私のオマンコがきれいだなんで...  
こんなに濡れてるのは...だって...  
あなたがじらすから...

あんっ! はうあああん!  
や...やめて...んんん...  
息を吹きかけないでえっ...

すごく敏感になつてて...  
くすぐつたくて...んああ...  
なんか変な感じがするう...

ひん

ブルブル

ブルブル

ハア

ハア

ブルブル

ブルブル



ねえ...もういいでしょう...  
そろそろお願い...  
...  
見てるだけなんてヒドイよお...

えっ? なに?

ハア  
ハア

これからする事を実況すればいいの?  
またそんなコトばかり...  
ううう...もうっ...わかったわよお...  
実況すればいいんでしょう?

だから...お願いい...

ひくひく

ブルブル  
ブルブル  
ブルブル

ブルブル



うん…  
じゃあ始めるね…

あなたの両手の親指が…  
私のオマンコを…クニクニって  
あっ…いいじってるう…

はああ…  
あなたの遅い指の感触が  
伝わってくるよお…

私の…いやらしいオマンコを  
あなたの指が…さわってるう…  
はあああん…ふううん…

ブルブル  
ブルブル  
ブルブル

ブルブル

むんっ

むんっ

ピクンッ



はうっ！  
ん！ ふはあああ…

はあああ…バツクリ…  
開かれちゃってる〜  
オマンコの穴があ…  
左右に押し広げられてえ

膣穴の奥の奥まで…  
子宮口まで見られてるう…  
全部見られちゃってるよお…

くはあ…

ひん

ひん

ひん

ひん



ふはああん…  
もっと見てえ…私のオマンコ  
恥ずかしいトコ全部見てえ…

いやらしく勃起したクリトリスも  
バクバクって欲しがってるピラピラも  
だらしなくヨダレを垂らした膣穴の粘膜も  
汚らしい肛門も私の全部を見て欲しい

私のオマンコ見てえ…  
はうあああん…んはあ…  
舐めてえ…いじりまわしてえ…

ぱくぱく

おん

おん

ブルブル

ブルブル

ハア  
ハア

ハア





はううっ!  
くふうううんっ!

舌が…ヌルヌルの舌があ…  
クリトリスをコリコリって舐めてるう…  
はああ…あ、ダメえ…剥いちや…  
んんんっ…くああああんっ…

れろれろ

皮が…剥かれて…  
クリトリスがむき出しにい  
あっ! あああんっ!  
そんなに強く舐めないでえっ!

んふう…  
コリコリ…クリクリって  
はうああ…舌で擦られてるよお…



うはあああああつ！  
ダメエエツ！  
指と舌のダブル攻撃なんてっ  
そんなの反則だよおっ！

あつ！ ああつ！  
くはああああああんつ！  
や…いやあつ…

クリちゃんクリちゃん！  
やはあああああうっ！  
あああああつ！

はあああああん！  
くあああああつ！  
んほああ…

れろれろ

くりりっ



うくうう…  
あっ！ あふうっ！  
ひああああっ…

指があ…あふうんっ…  
中に入っ…るうっ  
くうう…はああ…

オマンコの…穴に中てえ…  
指がグリグリってえ…  
中をえくくってるよう…

あっ…そこっ！  
んあはあっ…くううう…  
あくうううん…

あはあは

あはあは

あはあは



い...イクっ...  
イッちやううううっ!  
うあああああ...んっ!

あっ! あっ!  
ダメえええっ!  
くっ! あひうっ

指で...オマンコ...  
グリグリほじられてえ...  
くっ...  
イキそうになってるう

あああん!  
くはあ...んふううっ  
指...気持ちイイ!

あっ!  
あっ!  
ダメえええっ!  
くっ! あひうっ

あっ!  
あっ!  
ダメえええっ!  
くっ! あひうっ

びくっ



はあああああつ！  
ふあつ…くはあん！  
うあああああつ！

んっ！んぐう…  
ほああ…ひああん  
はあああああ…

くああああ…  
はあ…ふはああん  
はあ…はあ…はあ…

はあ…はあ…  
んはあ…  
またイッチやったあ…

ブルブル  
ブルブル

ブルブル

びしょ



えっ?  
実況を続けるって?  
うん...わかったわ...

はあ...はあ...  
ごめんなさい...  
私ばかり...

あつ! ソレって...  
はあ...  
あなたの右手が...  
勃起したチンポを...  
擦ってる...

私の...イッたばかりの  
ほかほかオマンコ見ながら...  
愛液まみれの指でチンポしごいてる

ひくひく

しゅっ...  
しゅっ...!

ポルッ  
ポルッ  
ポルッ  
ポルッ

ポルッ  
ポルッ

ふああ…すごく気持ちよさそう  
私のオマンコ見ながら…  
あなたがオナニーしてる…

そんなに早く動かすんだ…  
痛くないの？ 気持ちいいんだ…  
ああ…ガマン汁出てきてるよ

ハア  
私のオマンコに突っ込んでるトコ  
想像して擦ってるの？  
私の中…どんな感じ？

肉厚ムッチリで具合いいんだ  
あつ凄い…激しい…  
ホントに入れてるみたい…

しゅっ…  
しゅっ…

ブルブル

ブルブル



いいよ…出してっ!!  
私のオマンコに出して  
熱いのぶっかけてええっ!

はあっ…手の動きが  
速くなって…

あっ…はあああん!  
もうイヤそうなの??

しゅっ…  
しゅっ…

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル







はあ...はああう...  
はあああ...  
いっぱい飛んできたよお...

はあ...はあ...  
白濁した濃い精液があ...  
あなたのチンポからドビュドビュって  
大量に放出されてえ...

ハア  
ハア  
飛ばされた精液が  
私のオマンコに降りかかって  
すっごく熱いのお...

あつ! ひああん  
肛門にも...たれてきて  
うああああん...くふう...

じゅっ

ブルブル  
ブルブル  
ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

彼の精液の熱を味わい  
私は膣奥の強烈なうずきを感じていた  
子宮が精子を欲しがっている  
私の体が彼の子種を求めていると  
ひしひしと感じていた

何度も下口下口の精液を浴びても  
まだ満たされない…  
この後の展開に期待をしている  
彼の精液を直接胎内へと  
たくさん注ぎ込んでくれる事を……



ハア  
ハア

ゴ  
ル  
ッ

ゴ  
ル  
ッ

ゴ  
ル  
ッ

ゴ  
ル  
ッ

ゴ  
ル  
ッ

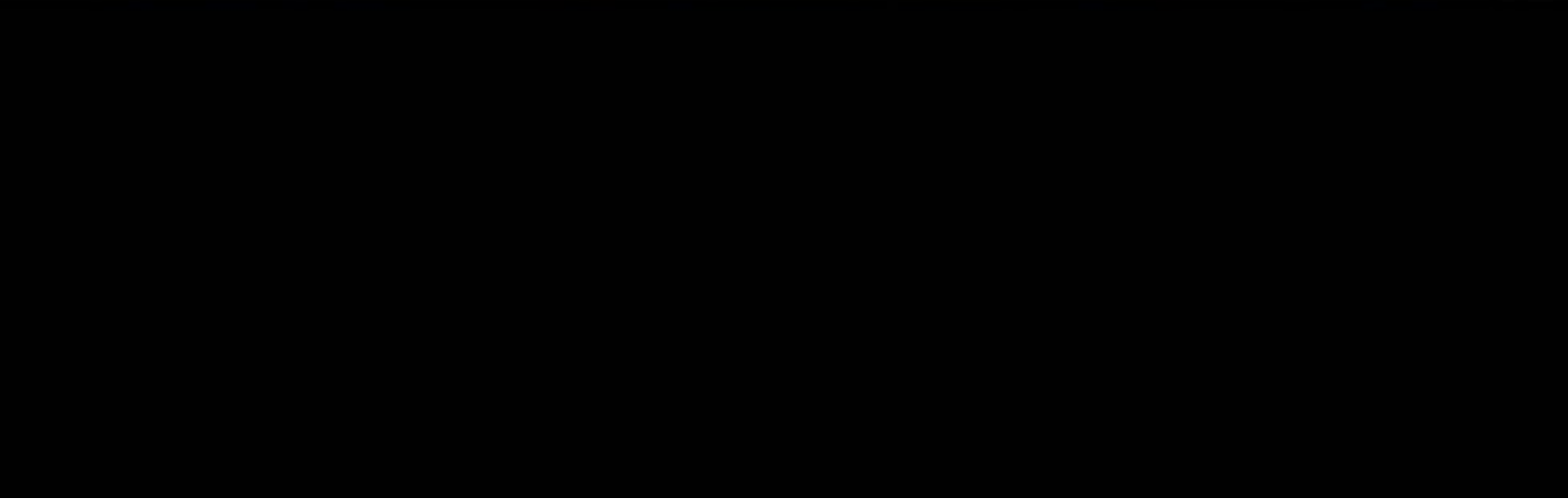


やっと彼のチンポを入れもらえる  
私のドロドロなオマンコに  
太くて遅い肉棒をスッポリ  
挿入してもらえ

ああ……  
もうすぐ彼が  
私の中に入ってくる

彼の上にまだがり  
ゆっくりと腰を下ろしていくと  
チンポの先端がオマンコの入り口に  
甘いキスをする







あああつ…  
入ってくるう…  
チンポ入ってくるのお!

がわん

むん

ぐん

はああ…  
ああああん

グニグニと膣穴を押し広げ  
亀頭が胎内へと侵入していく  
擦れ合う粘膜の感覚が  
私の頭を痺れさせる

あなたの硬いのがああ…  
いっぱい入って来るよう

がわん

がわん





はうああんっ!  
くああああ...  
入っちゃったあ...

んああ...んくう...  
奥までっ...届いてるう...

あうっ...んんんっ...  
はああっ...すごい...  
オマンコえぐれてるう...







うああんっ！  
待って…動かないでえ…

はあ…はああ…  
体の奥で…あなたを感じる…  
オマンコで…あなたのカタチ  
わかつちやうよお…

なんか…ビリビリって  
すごく感じ過ぎちゃう…



あっ！ はうああん！  
んはああああっ！

や…ダメえ！  
いきなり…激しすぎるう  
はあ…あうううん…

そんなに…ガンガン…  
突かれちゃったら…  
くはあああっ！



ハッハッ

ズッ

んふう…くあああ…  
奥まで…響いてるうっ  
あううん…

くああううっ!  
気持ちいいいつ!  
ひはあああんっ…

あううん…  
子宮の…入り口っ  
ゴンゴン突いてるう!

ハッハッハッ

ズッ

ずずず

ずず

ハッハッ

ハッハッ



あなたのチンポが…  
私の中をグリグリかき回して  
くちやくちやになっちゃう!

あっ…あっ…はああ!  
ん…んんっ…  
チンポすげえいいっ!

はああ…カリが引つかかって  
膣肉えぐられちゃってるう!



オマンコを突き上げられ  
体が激しく上下に跳ねる  
挿入の振動がフルンフルンと  
おっぱいを大きく揺れさせた

入っては出て また入っては出る  
何度も繰り返される動作が  
私の胎内を狂おしい程に擦りまわす

擦れる度…突かれる度に  
体中を快感が電撃の様に走り抜ける  
私は彼のチンポに夢中だった







イイっ！ イイよお！  
すっごく気持ちイイっ！

ああ…子宮の奥で…  
あなたのチンポ感じてるう

突いて！ 突いてっ！  
もっと突き刺してえっ！



おにん!

おにん

おにん

どく

どく

か

か

か

あっ…あっ…あふうん！  
くあああ…そう…  
すごいいいっ…

刺さってるう…  
あなたのチンポお  
奥までブッスリ  
突き刺さってるよお！

注いでえっ！  
あなたの精子いっぱい  
子宮に注いで欲しいっ！



おにい…

おにい…

おにい…

はああ…あうああん  
出るの？ 出ちゃうのお？

いいよっ…中づいてよー！  
思いつきり中で出していいの  
いっぱい生で出していいよ

あなたの精子たっぷり  
出してちょうだいっ！

びくびく

ずんずん

ずんずん

カクカク





ムムムム

ムムムム

ムムムム

出てるづうっ！  
いっぱい出てるづうっ！

んはあああああっ！  
くああ…あうううんっ！

はああああん  
すけけ熱っっ…

ムムムム

ムムムム

ムムムム

ムムムム

ムムムム

ムムムム

ムムムム



あつ！ はああう…  
中で精子が跳ねてるう…

はあ… はああ…  
いっぱい… ドクドクって  
子宮に注ぎ込まれてるう…

すごい…  
こんなにいっぱい…



子宮

びゅん！

はあっ…んはああん…  
ふはああ…幸せえ…

あなたの赤ちゃんの元が…  
いっぱいお腹の中に入ってる…

はあああん…  
すっごい幸せだよお…



あんなに出したのに…  
こんなに濃くてたっぷり…  
ふふっ…ステキ…

いやああああん…  
あふれてきちゃううう…  
んはあああ…

はあ…はあ…んん  
もっと…もっと欲しい…  
あなたの精子ちょうだい



精子

ぐぽっ

どろろろろ

どろろ

どろろ

ハァ  
ハァ

ハァハァ



彼の子種を子宮に受けて  
幸福感に満たされていただけ  
それでも まだまだ彼を求める気持ちは  
まったく癒えなかった

白濁した精液を股間から垂らし  
ブルブルとお尻を振るわせながら  
私は更なる射精を彼に求めた

もっともっと子宮に  
熱い精液を注ぎ込んで欲しい  
張り裂ける程にいっぱい精子が欲しい



私の求めに応え  
彼は入れたままの男根を  
激しく膣奥へ突き入れてくれた

あふうっ！ はんっ！  
はああああっ！  
すごおおおっ！

はひい…んふうっ…  
さつきより…  
おっきくなってるうっ！



はうんっ…中の…  
精子が…ヌルヌルで  
はあ…すっごく気持ちいい!

動く度に…子宮の中で  
跳ねてるのがわかるうっ…  
あふはああっ…

いいよお…  
注射器みたいに…押し出されて  
もっと奥に入っっていっっちゃうう

ブン

ずんずん!

あふあふ



もうダメえ…  
おかしくなっちゃう…  
あひはあぁ～ん！

体中あなたで満たされて…  
全部あなた色に染まっちゃってるう

私はすべてあなたのモノ…  
中も外も全部好きにしてえ！



あひはあぁ～ん

あひはあぁ～ん





あっ…ひあ…んはっ  
チンポきくうっ!  
すっごいオマンコに響くうっ!

はっ…んはっ…  
んくううっ…あはあ…  
気持ちよすぎるうっ…

精子…ザーメンいっぱい  
お腹にタプタプだよあっ

たごい汁

たごい汁

んぐう…くあああつ！  
や…ダメえ…激しいっ！

グリグリえぐれちゃうう  
ドリルみたいに…  
チンポでほじられるう！

あつ！おふううつ…  
グリグリすごおおい！



ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん











はあああああ...  
いっぱい出たあああつ!

うはああああああんつ!  
んくひあああああつ...  
あふうふうふうん!

あうああああああつ!  
イッチャうふうふうん!

子宮! **子宮!**

**子宮!**

**子宮!**

子宮!

子宮



んも〜…  
もったいないなあ…

あなたの精子…  
全部飲み込みたいのにい…

あつ！ ああああん…  
精子あふれてきちやつたあ…  
隙間からもれちゃう〜



ハア

ハア

どくろ〜  
どくろ〜

ゴッポッ..

ズルズル

ゴッ

ゴッ

カク

カク

ズル

カク

カク



うふふ…  
お願いよっ…

でも…まあいいわ…  
これからもっともっと  
注いでもらうから

もっともっと…  
私を気持ちよくさせてね

ぐほっ…  
おしまい…。

1st time

ぐほっ…

ぐほっ…

ハッ

ぐほっ…

ハッ

ハッ

ハッ